

校長室便り

(文責)

ドー八
日本人学校校長
酢谷昌義

全校合唱「カントリーロード」

オープンスクールを終えて

たくさんのお客様をお迎えして、今年度第1回目のオープンスクールを実施することができました。日頃の学習の様子をはじめ、ドー八日本人学校の子供たちが頑張っている姿を多くの方に見ていただきたいと計画したものです。

日本人会総会の場で最初の案内をしました。大使館のメールマガジンでも広く知らせていただきました。お陰で本当にたくさんの方々に、子ども達と学校の様子を見ていただくことができました。正確な数ではありませんが午前中だけで30名以上の方が、午後になると80名以上の方が来校されました。午前・午後共見ていただいた方も多く、のべ120名もの方に来ていただけただけことは、本当にありがたいことだと思います。

子ども達は多少の緊張感を持ってはいましたが、普段通りの生活・学習を展開していたように思います。毎時間いろいろな方が教室に来られるので、6時間目の「ミニミニ

発表会」の時には、もう見られることに慣れてしまったような感じを受けました。私はこのことがとても大切だと思います。人の目が有る無しに関わらず、その時々にするべきことがきちんとできなければならぬからです。

こんなことを考えながら見ていた6時間目の発表は、先日の予行練習の時よりもずっと良い発表になっていました。学年が下がるほど、練習との差が大きかったように感じました。特に低学年の音楽は、今までにない良い発表になっていたと思います。必ずどこかで誰かがつまずいていたものが、とても素晴らしい演奏にすることができました。

「本番に強い」ということは



頑張った「自己紹介」



1・2年生「生活科」授業の様子



中学部の「英語劇」

大変重要なことですが、文字通り本番に強い子ども達になってきているようで、とても嬉しく頼もしく感じました。

今回のオープンスクールを通して、子ども達はまた少し成長したように思います。この経験を生かし、さらに自信を身につけられるように取り組んでいきたいと思います。

ご来校の皆様
ありがとう
ございました

北爪大使御夫妻をはじめ、本当に多くの方に来ていただき心からお礼申し上げます。

あのような場で発表ができて、それに対して温かい拍手をいただくことで、子ども達は自信を身につけていきます。それは他のことには代え難い大変貴重な経験になります。

これからもドー八日本人学校の子供たちの頑張りを、温かく見守り励ましていただきますよう、よろしくお願いたします。



たくさんのお客様がみえました

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

「ドレミのうた」の演奏

オープンスクール(2)

オープンスクールを終えた低学年の子ども達の感想の一部を紹介します。一生懸命取り組んだことがとても良く伝わってきます。

びゅんびゅんごまをつくった。わたしのびゅんびゅんごまがすごいまわった。すごいうれしかった。でも、わたしのびゅんびゅんごまで、てがすこしいたくなかった。

れんしゅうのときやりハースルのときは「ドレミのうた」をまちがえたりしたけど、ほんばんはまちがえなかったのがよかったです。「カントリーロード」はじょうずにうたえてよかったです。

「あしたがあるさ」のきょくは、22人で音をあわせるのは、はじめは大へんだっただけど、オープンスクールでは音があったのでとてもうれしいです。

きんちょうしたことは「ドレミのうた」です。りゅうは、



「びゅんびゅんごま」づくり

いままで「ドレミのうた」をれんしゅうするとき、かならず1回はしっばいしていたからです。でもほんばんでは、ちゃんとできたのでよかったですと思います。

いちばんがんばったなと思うことは「カントリーロード」をうたうことです。なぜかと言うとみんなできょうりょくしたからです。まちがえないでうたをうたえたからよかったです。先生も「よくできました」と言ってくれたからうれしいです。「ドレミのうた」も、さいしょはまちがえとかひくのをわすれたりしたけど、ほんばんがきたとき「まちがえないようにがんばろう」という気持ちでやったからできたと思います。「あしたがあるさ」も同じ気持ちでやったからまちがえなかったんだと思いました。7月のミニミニ音がかいも、がんばってえんそうしたり色いろなうたをうたったりしたいです

心にいちばんのこっているのは「ドレミのうた」です。なぜなら、さいしょはかしをまちがえてばかりだったけれど、本ばんは1かしょもまちがえないでうたえたからです。おかあさんが「よくがんばったね」と言ってくれました。

わたしはとてもうれしかったです。

オープンスクールがはじまってアラビアごはやっぱり手のやつがきんちょうしたけど、じしんをもってやりました。そしたら、みんながはくしゅをしてくれたのでうれしかったです。えいごはアラビアごでじしんがもてたのでよかったです。音がくはっぴょうは「あしたがあるさ」と「ドレミのうた」がけんばんハーモニカでまちがえないでひけたのでうれしかったです。びゅんびゅんごまつくりもたのしかったです。

れんしゅうのときはなかなか音があわなかったけど、ほんばんのときはけっこう音があったので「よかったな」と思いました。「ドレミのうた」はさいごのドミミのドしかまちがえなかったのが「よかったな」と思いました。れんしゅうをたくさんしといてよかったです。



全校合奏「あしたがあるさ」

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

中学部・技術家庭科「情報」の授業

「自己管理能力」の育成

学校の重要な役割は、子ども達を社会化させ自立した人間に導くことだと考えています。そのために様々な学習や活動を、意図的・計画的に実施していきたいと思っております。

学習・生活の両面で自立した人間にしていくために、何よりも大切なことは子どもの「自己管理能力」を育てることではないでしょうか。自己管理能力というのは、基本的な生活習慣や行動様式を身につけ、自分の日常生活について自立的な判断と責任ある行動がとれる力のことです。具体的には「自分のことは自分でできる」「自分の考えをきちんと言える」「問題に対して積極的に取り組める」などができることです。

そういう面から考えると、日々の家庭学習にも違った重要性が見えてきます。家庭学習がなぜ重要かという、学校で不足した学習内容を補ったり単に復習をしたりするためではありません。先生に頼



1~4年生「おしゃれな動物園」

らずに「自学自習」する態度を形成することが大きな目的です。自学自習できる子どもは、将来の社会生活においても困難に立ち向かえるような、生きる術を身につけることが期待できるからです。

しかし子ども達からすると、そんなことを意識して家庭学習をしてはいないと思います。そこで、その子にあった指導をきめ細かにしていくことが必要になります。誰にとっても効果的なことは「誉める」「認める」「励ます」「アドバイスすること」です。このような言葉がけをしょっちゅう行うのです。子どもは誉められたり、励まされたりすることで「やる気」を高め、頑張ろうとする気持ちになります。

そうなるといういろいろなことに対し積極的にもなってくる。

先日のオープンスクールでも同じようなことがありました。先生やお母さんに誉められたことを喜び、大勢のお客さんから拍手をもらったことで「やればできる」と自信を深めているのです。

子ども達が自信を身につけるといことは本当に大切なことです。自信を身につけた子どもは大きく変わっていくからです。自分のことは自分でできるようになり、自分から進んで行動するようにもなります。発表会のような行事はもちろん、日々繰り返されることを大切にして、子ども達に「自己管理能力」を育てていきたいと思っております。

「ことわざカルタ」ブームの到来?!

小学部の各クラスで「ことわざカルタ」の取り組みに力が入ってきました。

1・2年生は昨年から生活科の中で繰り返し行っています。少し前のことになりましたが、5・6年生と一緒にカルタとりをしたところ1・2年生が勝ったので、今日2度目の対戦が行われました。

結果は僅差で5・6年生が勝ちましたが、限られた時間の対戦だったので勝敗はどう転ぶか分からない状況でした。

1・2年生の頑張りがとても光っていました。

先日3・4年生も「ことわざカルタ」を始めていました。この先どうなっていくのかがとても楽しみです。



「ことわざカルタ」2度目の対戦